

かながわ仮住まい研究会概要

1 目的

内閣府によると、都心南部直下地震は、今後30年以内に70%の確率で発生すると予想され、神奈川県内では、全壊が64,500棟、半壊が221,250棟、焼失が37,600棟、合計で約32万棟が大きな被害を受けると想定されている。また、相模トラフ沿いの地震等では、津波による被害が想定されるとともに、近年は、台風などの豪雨による水害や土砂災害等のリスクも増大している。

本研究会は、これら大規模な災害の発生から仮住まい、復興までの流れを被害状況や避難先・仮住まい先の多様な選択肢と合わせて示すことで、平時からの備えを促すとともに、被災後の円滑な行動につなげるために作成するリーフレット「かながわ仮住まい」について、専門的な見地から検討を行うことを目的とする。

2 期間

令和3年6月1日から令和4年2月28日まで

研究会は、期間中2回開催

(第1回 令和3年6月7日、第2回 令和3年7月30日)

3 議論する内容

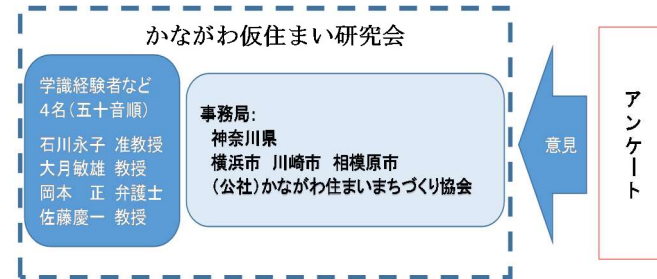
研究会は、次に掲げる事項について検討する。

- (1) かながわ仮住まい素案について
- (2) かながわ仮住まいアンケート案について
- (3) かながわ仮住まいアンケート結果について
- (4) かながわ仮住まい案について

4 かながわ仮住まいアンケート

横浜市、川崎市、相模原市、小田原市の県民（全体で10名程度）を対象に、かながわ仮住まいについてのアンケートを実施する。

最初に、平時の取組みや緊急避難時、生活再建のイメージを記入した上で、かながわ仮住まい案を実際に使用し、見やすさや分かりやすさ、その他の要望等をコメントしてもらう。



5 スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
研究会			●(6月7日) 第1回 仮住まい研究会	●(7月30日) 第2回 仮住まい研究会						(○) リーフレット報告	
事務局		←リーフレット素案作成	←リーフレット案作成	←(6月末~)アンケート実施	←アンケート結果とりまとめ	←リーフレット作成・校正	←	←	←	←	印刷・配布
							市町村・県庁内意見照会				